

2019年7月24日

株式会社博報堂 D Y メディアパートナーズ
デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社

**博報堂 D Y メディアパートナーズと DAC、
動画広告の最適化を継続的に支援するコンサルティングサービス
「動画クリエイティブプラナー X (クロス)™」を提供開始**

株式会社博報堂 D Y メディアパートナーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：矢嶋弘毅、以下 博報堂 D Y メディアパートナーズ）とデジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO：島田雅也、以下 DAC）は、両社が開発した「動画クリエイティブプラナー™」に新たな分析手法を掛け合わせ、専門的に対応するチームを博報堂 D Y グループ横断で組成することで、動画広告の最適化を継続的に支援するコンサルティングサービス「動画クリエイティブプラナー X (クロス)™」の提供を開始いたします。

動画クリエイティブプラナー X

2019年1月に発表した「動画クリエイティブプラナー™」※は、動画広告のクリエイティブを最適化する博報堂 D Y グループオリジナルのソリューションです。出稿実績のある YouTube 動画広告約 8,000 件のクリエイティブを要素分解し、機械判別や目視確認によって各要素をスコア化したものと、動画広告自体のパフォーマンスをデータベース化して開発したもので、動画広告の分析・プランニングにおいてこれまで多くのケースで活用してきました。

その進化版となる「動画クリエイティブプラナー X™」は、「動画クリエイティブプラナー™」で得られた分析結果に、メディアやプラットフォームが有する独自の分析手法や知見を掛け合わせるとともに、データアナリストだけでなくクリエイティブスタッフとも協働し、ワンチームで分析からプランニング、運用まで実施していくことで、より効果的な動画広告の開発および継続的な運用サイクルの確立を広告主企業とともに推進していきます。

また、企業が複数のブランドを持つ場合、ブランドごとにクリエイティブの評価基準や動画広告の運用方針があり、企業全体での最適化が難しいといった課題がありますが、「動画クリエイティブプラナー X™」を活用することによって、共通の基準で横断的に評価できるようになるため、ブランド単位ではなく企業全体での最適化を目的とした運用においても、着実な効果を上げていくことが可能になります。

本リリースに先駆け、複数のブランドを持つ広告主企業に対して、YouTube の動画広告分析フレームワークを用いた分析手法を掛け合わせて検証したところ、その企業に固有の成功パターンの発見や課題の抽出に成功しており、複数ブランドの動画広告を企業全体で最適化していく取り組みも本格的に進展しています。

今後も、博報堂 D Y メディアパートナーズと DAC は、「動画クリエイティブプラナー X™」で活用できる分析手法を拡大し、コンサルティングサービスの充実も図りながら、より多くの広告主企業のマーケティング効果の向上に貢献してまいります。

■「動画クリエイティブプランナー-X™」の特徴

動画クリエイティブプランナー-X

「分析」をクロス



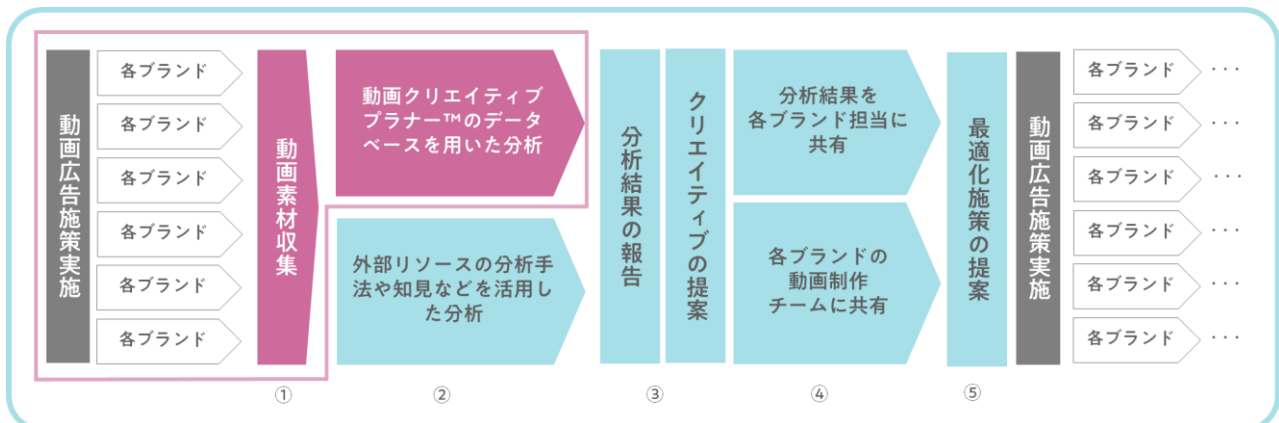
「人材」をクロス



「チーム」をクロス



■「動画クリエイティブプランナー-X™」の運用フロー



- ① 各ブランドで出稿済みの動画素材を収集
 - ② 動画素材を当社グループのデータアナリストとクリエイティブスタッフが分析
 - A. 「動画クリエイティブプランナー™」のデータベースを用いたクリエイティブ分析
 - B. メディアやプラットフォームなど外部リソースの分析手法や知見などを活用したクリエイティブ分析
 - ③ AとBを掛け合わせて得られた分析結果の報告 & クリエイティブの提案
 - ④ 分析結果を当社グループの各ブランドの動画制作チームなどに共有
 - ⑤ 最適化されたクリエイティブにて動画広告の施策を再設計
- ※以降 PDCA サイクルを継続

以上

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

広報室 山崎 03-6441-9347

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社

戦略統括本部広報担当 TEL : 03-5449-6320 E-mail : ir_inf@dac.co.jp